

民進党千葉県第10区総支部
〒287-0001 千葉県香取市佐原口 2164-2
TEL0478-54-5678 FAX0478-52-6991
Mail:info@hajime-yatagawa.com



元衆議院議員 谷田川 はじめ

【谷田川はじめプロフィール】

昭和 38年	1月17日香取市に生まれる
56年	千葉県立佐原高校卒業
60年	早稲田大学政治経済学部卒業
同年	丸紅(株)入社
63年	(財)松下政経塾入塾 在塾中、米国連邦下院議員政策 スタッフとして活動
平成 3年	衆議院議員山村新治郎秘書
5年	千葉県議会議員初当選 以後4期連続当選
21年	衆議院議員初当選 拉致問題特別委員会理事 国土交通委員会委員 民主党成田空港ハブ化推進議員連盟事務局長
24年	再選を目指したものの惜敗
26年	返り咲きを目指すもわずか10票で比例区 当選に届かず
【現在】	民進党千葉県第10区総支部長 千葉県ハンドボール協会会長

法人税減税より社会保障充実を！

「世界で一番企業が活躍しやすい国を目指します」これは、安倍総理が再登板した直後の2013年2月28日に行われた施政方針演説の一節です。その言葉通り、安倍総理は2013年度37%であった法人税実効税率を毎年引き下げ、2018年度には29.74%に引き下げる方針を打ち出しました。2013年度と比較して実に7%以上の引き下げです。1%税率を引き下げると、約5000億円の税収が減ります。となると、7%だと約3兆5000億の税収減です。一方、大企業は史上空前の利益を上げ、内部留保は350兆円以上にのぼります。法人税を減税しても、設備投資や従業員の賃上げには向かわず内部留保が増えるだけの指摘も根強くあります。このような状況下で、法人税減税は本当に必要なのでしょうか？

私ども民進党は「企業が活躍しやすい国」ではなく「一人一人の国民が居場所と出番のある『共生社会』」を目指しています。従って、私は法人税

減税よりも社会保障の充実が重要だと考えます。

以下は、私ども民進党が今通常国会に提出した社会保障を充実させるための法案です。

① 介護職員等の処遇改善法案

介護・障害福祉従事者の給与を平均して1人当たり月額1万円引き上げるための助成金を支給する。

所要額 約1777億円（平年度）

② 児童扶養手当法及び国民年金法の一部を改正する法律案

現行の支給対象に、「20歳未満で、大学の学生、専修学校の生徒その他の政令で定める学生又は生徒である者」を加え、児童扶養手当の第2子以降の加算額を1万円に引き上げる。

所要額 約220億円（平年度）

③ 保育士等処遇改善法案

保育等従業者の給与を平均して1人当たり月額5万円引き上げるための助成金を支給する

所要額 約2840億円（平年度）

④ 中小企業正規労働者雇入臨時助成金の支給に関する法律案

法の施行後5年以内に新たに正規労働者を雇い入れ、それに係る社会保険料のうち、中小企業者が負担すべき額の2分の1を10年間支給する

所要額 15年間で1兆850億円（初年度 助成額217億円）

*当該助成を毎年10万人利用した場合で試算

①～④をすべて実現させても、所要額は、年間約5560億円。法人税率1.1%分程度です。しかしながら、今通常国会で①と②は与党の反対で否決され、③と④は与党が審議入りに応じていません。

法人税減税と社会保障の充実 どちらが日本全体にとってより重要なのか？
国民の一人一人の選択が迫られています。